

特集

重症患者受け入れ 1割増の余波 —現場から

今春から回復期リハビリテーション病棟入院料1・2の算定病院では3割から4割へ、同3・4の病院では2割から3割へ、入院時の重症患者割合が引き上げられた。

特集では、「重症患者受け入れ1割増の余波—現場から」と題し、Part1では今回改定の背景と今後への影響について、岡本隆嗣・当協会常任理事に「ポイント解説」いただき、続くPart2では、病棟構成のバリエーションが異なる11会員病院の病院長、病棟管理者クラスに今春以降6か月経過時点の自院回復期（および特定機能病院）リハビリテーション病棟の現状と変化、これまでの対応を報告いただいた。